

2019年3月期 第3四半期決算短信(IFRS)(連結)

2019年1月30日

上場会社名 アンリツ株式会社
 コード番号 6754 URL <https://www.anritsu.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 グループCEO (氏名) 橋本 裕一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 CFO (氏名) 窪田 顕文

TEL 046-296-6507

四半期報告書提出予定日 2019年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	71,120	14.2	7,716	189.4	7,850	197.6	6,282	325.6	6,257	327.2	6,511	117.6
2018年3月期第3四半期	62,258	0.0	2,666	59.8	2,638	117.2	1,476	106.8	1,464	109.8	2,991	251.8

	基本的1株当たり四半期利益		希薄化後1株当たり四半期利益	
	円 銭		円 銭	
2019年3月期第3四半期	45.55		45.53	
2018年3月期第3四半期	10.67		10.67	

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	126,559	82,730	82,730	82,623	82,623	65.3
2018年3月期	121,190	78,313	78,313	78,230	78,230	64.6

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭				
2018年3月期		7.50		7.50	15.00
2019年3月期		8.50			
2019年3月期(予想)				13.50	22.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	98,000	14.0	11,000	123.9	11,000	139.0	8,500	193.2	8,500	195.1	61.87

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年3月期3Q	138,174,294 株	2018年3月期	138,134,794 株
------------	---------------	----------	---------------

期末自己株式数

2019年3月期3Q	840,220 株	2018年3月期	777,659 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2019年3月期3Q	137,375,011 株	2018年3月期3Q	137,330,189 株
------------	---------------	------------	---------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の情報に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料6ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、2019年1月31日(木)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明会資料は、開催後当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	8
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	8
(2) 要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書	10
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	12
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(会計方針の変更)	14
(セグメント情報)	15
3. 参考情報	18
最近における四半期毎の業績の推移（連結）	18
最近における四半期毎の財政状態の推移（連結）	19
最近における四半期毎のセグメント情報の推移（連結）	20
決算補足資料	21

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

1) 全般的概況

(単位：百万円)

	前第3四半期	当第3四半期	前年同期比	
受注高	64,214	73,903	9,689	15.1%
受注残高	20,465	23,383	2,917	14.3%
売上収益	62,258	71,120	8,862	14.2%
営業利益	2,666	7,716	5,049	189.4%
税引前四半期利益	2,638	7,850	5,212	197.6%
四半期利益	1,476	6,282	4,806	325.6%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	1,464	6,257	4,792	327.2%

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、先進国を中心に景気拡大が継続し、国内においても企業収益及び雇用情勢の改善が続くなど回復基調で推移しましたが、米中間の貿易摩擦や保護貿易主義による対立などにより不確実性を増しています。

情報通信分野においては、モバイル・ブロードバンド・サービスは質量ともに拡がりを見せ、データ通信量は急速に増加して、ネットワーク・インフラを逼迫させつつあります。それらの課題を解決するために、モバイル通信方式4Gは、LTE(Long Term Evolution)及びLTE-AdvancedそしてLTE-Advanced Pro(Gigabit LTE)と進化し続けています。加えて、次世代の通信方式5Gの仕様策定が3GPPで進行しています。2017年12月に5G NSA-NR、2018年6月に5G SA-NRの標準化が完了し、5Gの超高速通信に関する主要機能の全仕様が規定されました。3GPPでは引き続き、ユースケースの拡張が期待される超低遅延及び多数同時接続の仕様策定を検討しており、2020年初旬に標準化完了が予定されています。

その結果、各国主要キャリアの5Gの商用化に向けたロードマップが具体化してきました。それに伴い5G商用化に向けた通信用半導体及び携帯端末の初期開発投資が順調に行われています。2018年12月に北米や韓国で先行的な5Gサービスが開始されており、2019年中には端末ベンダーから5G対応スマートフォンの商品化が予定されています。

このような環境のもと、計測事業グループは、5Gの開発投資需要を獲得するためのソリューションの開発と組織体制の整備に注力しました。

PQA事業の分野においては、加工食品生産ラインの自動化投資が進むとともに、X線を用いた異物検出並びに包装に関する品質保証などの需要が堅調に拡大しています。PQA事業グループは、このような状況下でX線を軸としたソリューションの競争力強化と海外の販売体制の整備拡充に取り組みました。

この結果、受注高は73,903百万円（前年同期比15.1%増）、売上収益は71,120百万円（同14.2%増）、営業利益は7,716百万円（同189.4%増）、税引前四半期利益は7,850百万円（同197.6%増）、四半期利益は6,282百万円（同325.6%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は6,257百万円（同327.2%増）となりました。

なお、法人税の不確実性に係る未払法人所得税の見直しを行ったことなどにより、米国子会社の法人所得税費用が約5億円減少しています。この結果、当第3四半期連結累計期間の法人所得税費用は1,567百万円（前年同期比34.9%増）となりました。

2) セグメント別の概況

第1四半期連結会計期間より、各事業セグメントの業績をより適切に評価するため、これまで各事業セグメントに配分していた一般管理費のうち本社管理費等を全社費用に含めるよう配分方法を変更しています。前第3四半期連結累計期間の数値は、変更後の表示に合わせて組替再表示しています。

① 計測事業

(単位：百万円)

	前第3四半期	当第3四半期	前年同期比	
売上収益	40,115	48,602	8,487	21.2%
営業利益	891	6,513	5,622	630.8%

当事業は、通信事業者、関連機器メーカー、保守工事業者などへ納入する、多機種にわたる通信用及び汎用計測器、測定システム、サービス・アシユアランスの開発、製造、販売を行っています。

当第3四半期連結累計期間は、モバイル市場においてLTE-Advanced Pro関連の研究開発投資に加えて、北米・アジア地域を中心に5Gのチップセット及び携帯端末の研究開発用測定器の需要が拡大基調で推移しています。この結果、売上収益は48,602百万円（前年同期比21.2%増）、営業利益は6,513百万円（同630.8%増）、調整後営業利益は6,513百万円（同453.3%増）となりました。

(注)調整後営業利益とは、営業利益から一過性の性格を持つ損益項目を排除した恒常的な事業の業績を測る当社独自の利益指標です。

(非監査情報) 営業利益から調整後営業利益への調整表

(単位：百万円)

	前第3四半期	当第3四半期	前年同期比	
営業利益	891	6,513	5,622	630.8%
(調整項目)				
事業構造改善費用	285	—	△285	
調整後営業利益	1,177	6,513	5,336	453.3%

② PQA事業

(単位：百万円)

	前第3四半期	当第3四半期	前年同期比	
売上収益	16,102	16,617	514	3.2%
営業利益	1,336	1,031	△305	△22.9%

当事業は、高精度かつ高速の各種自動重量選別機、自動電子計量機、異物検出機などの食品・医薬品・化粧品産業向けの生産管理・品質保証システム等の開発、製造、販売を行っています。

当第3四半期連結累計期間は、人手不足による自動化ニーズの高まりを背景に、国内・海外とも食品市場の品質保証プロセスの自動化、高度化を目的とした設備投資が堅調に継続しています。また、海外市場拡大に向けた投資を行いました。この結果、売上収益は16,617百万円（前年同期比3.2%増）、営業利益は1,031百万円（同22.9%減）となりました。

③ その他の事業

(単位：百万円)

	前第3四半期	当第3四半期	前年同期比	
売上収益	6,040	5,900	△139	△2.3%
営業利益	888	721	△166	△18.8%

その他の事業は、情報通信事業、デバイス事業、物流、厚生サービス、不動産賃貸等からなっております。

当第3四半期連結累計期間は、売上収益は5,900百万円（前年同期比2.3%減）、営業利益は721百万円（同18.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

1) 資産、負債及び資本の状況

(単位：百万円)

	前期末	当第3四半期末	前期末比
資産	121,190	126,559	5,368
負債	42,876	43,828	951
資本	78,313	82,730	4,416
(参考) 有利子負債	15,944	16,625	680

当第3四半期連結会計期間末における資産、負債及び資本の状況は次のとおりです。

① 資産

資産合計は、126,559百万円となり、前期末に比べ5,368百万円増加しました。主に現金及び現金同等物並びに棚卸資産が増加した一方、有形固定資産及び投資不動産が減少しました。

② 負債

負債合計は、43,828百万円となり、前期末に比べ951百万円増加しました。主にその他の流動負債並びに社債及び借入金が増加した一方、営業債務及びその他の債務が減少しました。

③ 資本

資本合計は、82,730百万円となり、前期末に比べ4,416百万円増加しました。これは、主に利益剰余金が増加したことによるものです。

この結果、親会社所有者帰属持分比率は65.3%（前期末は64.6%）となりました。

なお、有利子負債残高（リース債務を除く）は16,625百万円（前期末は15,944百万円）となり、デット・エクイティ・レシオは0.20（前期末は0.20）となりました。

(注) 親会社所有者帰属持分比率：親会社所有者帰属持分／資産合計

デット・エクイティ・レシオ：有利子負債／親会社所有者帰属持分

2) キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)

	前第3四半期	当第3四半期	前年同期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,158	9,366	5,207
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,206	△1,114	1,092
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,099	△1,682	6,416
現金及び現金同等物期末残高	34,208	42,054	7,846
(参考) フリー・キャッシュ・フロー	1,952	8,252	6,300

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の期末残高は、42,054百万円となり、期首に比べ6,601百万円増加しました。なお、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローを合わせたフリー・キャッシュ・フローは、8,252百万円のプラス(前年同期は1,952百万円のプラス)となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果獲得した資金は、純額で9,366百万円(前年同期は4,158百万円の獲得)となりました。これは、税引前四半期利益並びに減価償却費及び償却費の計上により資金が増加したことが主な要因です。なお、減価償却費及び償却費は3,280百万円(前年同期比90百万円増)となりました。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、純額で1,114百万円(前年同期は2,206百万円の使用)となりました。これは、有形固定資産の取得による支出により資金が減少した一方、有形固定資産の売却により資金が増加したことが主な要因です。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、純額で1,682百万円(前年同期は8,099百万円の使用)となりました。これは、配当金の支払額2,198百万円(前年同期の配当金支払額は2,059百万円)により資金が減少した一方、短期借入金の増加により資金が増加したことが主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績見通しは7頁のとおりであり、2018年10月31日に公表した業績予想を修正するとともに、併せて期末配当予想につきましても修正します。

業績予想の修正

米中貿易戦争の深刻化や英国のEU離脱問題の混迷化に起因する世界経済への悪影響に対する懸念が強まるなど不透明な事業環境にあります。主力の計測事業において、5G関連のモバイル市場向け開発用計測器需要が拡大基調で推移しています。

売上収益については、特に北米・アジア地域において、5Gのチップセット及び携帯端末の初期開発投資需要が従来の計画を上回る見込みであることから修正するものです。

利益面では、第3四半期までの実績を踏まえ、計測事業での増収効果及び売上原価率の改善が見込まれることから、営業利益、税引前利益、当期利益及び親会社の所有者に帰属する当期利益を修正するものです。

配当予想の修正

当社は、株主の皆様に対する利益還元について、連結業績に応じるとともに、総還元性向を勘案した利益処分を行うことを基本方針としております。

剰余金の配当については、連結当期利益の上昇に応じて、親会社所有者帰属持分配当率（DOE: Dividend On Equity）を上げることを基本にしつつ、連結配当性向30%以上を目標としており、株主総会決議もしくは取締役会決議により、期末配当及び中間配当の年2回の配当を行う方針です。

期末配当については、通期業績予想の修正に伴い、従来予想の1株当たり8.50円から5.00円増額して13.50円に修正します。これにより、年間配当金は1株当たり22.00円（うち中間配当8.50円）を予定しています。

2019年3月期通期連結業績予想数値の修正（2018年4月1日～2019年3月31日）

（単位：百万円）

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益
前回発表予想(A) (2018年10月31日発表)	92,000	7,000	7,000	5,500	5,500
今回修正予想(B)	98,000	11,000	11,000	8,500	8,500
増減額(B-A)	6,000	4,000	4,000	3,000	3,000
増減率(%)	6.5	57.1	57.1	54.5	54.5
(参考)前期実績	85,967	4,912	4,602	2,898	2,880

(参考) 2019年3月期 下期想定為替レート：1米ドル=105円

セグメント別売上収益の予想

（単位：百万円）

	前回発表予想(A) (2018年10月31日発表)	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)	(参考)前期実績
売上収益	92,000	98,000	6,000	6.5	85,967
計測	60,000	66,000	6,000	10.0	54,433
P Q A	23,500	23,500	—	—	22,549
その他	8,500	8,500	—	—	8,984

セグメント別営業利益の予想

（単位：百万円）

	前回発表予想(A) (2018年10月31日発表)	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)	(参考)前期実績
営業利益	7,000	11,000	4,000	57.1	4,912
計測	5,000	9,000	4,000	80.0	2,147
P Q A	2,000	2,000	—	—	1,969
その他	700	700	—	—	1,458
調整額	△700	△700	—	—	△663

(注)2019年3月期から本社管理費等の各事業セグメントへの配分方法を変更しており、前期の数値は組替再表示しております。

地域別売上収益の予想

（単位：百万円）

	前回発表予想(A) (2018年10月31日発表)	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)	(参考)前期実績
売上収益	92,000	98,000	6,000	6.5	85,967
日本	31,500	31,500	—	—	29,753
海外	60,500	66,500	6,000	9.9	56,213
米州	21,500	25,500	4,000	18.6	17,419
E M E A	11,500	11,500	—	—	12,781
アジア他	27,500	29,500	2,000	7.3	26,012

(注)EMEA (Europe, Middle East and Africa)：欧州・中近東・アフリカ地域

(注意事項)

本発表資料に記載されている、アンリツの現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しです。これらの記述は、現在入手可能な情報による当社経営陣の仮定や判断に基づくものであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。また、法令で求められている場合を除き、アンリツは、あらたな情報、将来の事象により、将来の見通しを修正して公表する義務を負うものではありません。

実際の業績に影響を与える重要な要因は、アンリツの事業領域を取り巻く日本、米州、欧州、アジア等の経済情勢、アンリツの製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場のなかでアンリツが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供できる能力、為替レートなどです。ただし、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 2018年3月31日	当第3四半期 連結会計期間 2018年12月31日	対前連結会計年度 増減額
資産			
流動資産			
現金及び現金同等物	35,452	42,054	6,601
営業債権及びその他の債権	21,474	22,048	574
その他の金融資産	1,164	603	△561
棚卸資産	18,236	19,274	1,038
未収法人所得税	128	192	63
その他の流動資産	3,120	2,657	△462
流動資産合計	79,576	86,831	7,254
非流動資産			
有形固定資産	25,947	25,160	△786
のれん及び無形資産	3,993	3,717	△276
投資不動産	1,463	871	△592
営業債権及びその他の債権	326	311	△15
その他の金融資産	2,747	2,778	31
繰延税金資産	7,125	6,845	△280
その他の非流動資産	9	42	32
非流動資産合計	41,613	39,727	△1,886
資産合計	121,190	126,559	5,368

（単位：百万円）

	前連結会計年度 2018年3月31日	当第3四半期 連結会計期間 2018年12月31日	対前連結会計年度 増減額
負債及び資本			
負債			
流動負債			
営業債務及びその他の債務	7,998	6,906	△1,092
社債及び借入金	4,467	5,650	1,183
その他の金融負債	73	76	3
未払法人所得税	2,352	2,296	△55
従業員給付	5,254	4,391	△863
引当金	323	412	89
その他の流動負債	6,333	8,032	1,698
流動負債合計	26,803	27,766	963
非流動負債			
営業債務及びその他の債務	500	408	△91
社債及び借入金	11,477	10,974	△503
その他の金融負債	153	141	△12
従業員給付	2,247	2,701	454
引当金	108	109	1
繰延税金負債	185	214	29
その他の非流動負債	1,400	1,511	110
非流動負債合計	16,073	16,061	△11
負債合計	42,876	43,828	951
資本			
資本金	19,064	19,091	27
資本剰余金	28,137	28,151	14
利益剰余金	26,254	30,522	4,267
自己株式	△987	△1,132	△145
その他の資本の構成要素	5,761	5,990	228
親会社の所有者に帰属する持分合計	78,230	82,623	4,392
非支配持分	83	107	24
資本合計	78,313	82,730	4,416
負債及び資本合計	121,190	126,559	5,368

(2) 要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間 自2017年4月1日 至2017年12月31日		当第3四半期 連結累計期間 自2018年4月1日 至2018年12月31日		対前第3四半期 連結累計期間 増減額		増減率 %
		百分比 %		百分比 %			
売上収益	62,258	100.0	71,120	100.0	8,862		14.2
売上原価	31,696	50.9	34,544	48.6	2,848		9.0
売上総利益	30,561	49.1	36,575	51.4	6,014		19.7
その他の収益・費用							
販売費及び一般管理費	19,961	32.1	20,629	29.0	668		3.3
研究開発費	7,654	12.3	8,299	11.7	645		8.4
その他の収益	163	0.3	370	0.5	206		126.1
その他の費用	443	0.7	301	0.4	△141		△31.9
営業利益	2,666	4.3	7,716	10.8	5,049		189.4
金融収益	194	0.3	337	0.5	142		73.1
金融費用	223	0.4	203	0.3	△20		△9.0
税引前四半期利益	2,638	4.2	7,850	11.0	5,212		197.6
法人所得税費用	1,161	1.9	1,567	2.2	405		34.9
四半期利益	1,476	2.4	6,282	8.8	4,806		325.6
その他の包括利益：							
純損益に振り替えられることのない項目							
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定される金融資産	408		20		△388		
計	408		20		△388		
純損益に振り替えられる可能性のある項目							
在外営業活動体の換算差額	1,107		208		△898		
計	1,107		208		△898		
その他の包括利益合計	1,515	2.4	228	0.3	△1,287		△84.9
四半期包括利益	2,991	4.8	6,511	9.2	3,519		117.6
四半期利益の帰属：							
親会社の所有者	1,464		6,257		4,792		
非支配持分	11		24		13		
合計	1,476		6,282		4,806		
四半期包括利益の帰属：							
親会社の所有者	2,980		6,486		3,505		
非支配持分	11		24		13		
合計	2,991		6,511		3,519		
1株当たり四半期利益 (親会社の所有者に帰属)							
基本的1株当たり四半期利益 (円)	10.67		45.55		34.88		
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)	10.67		45.53		34.86		

第3四半期連結会計期間

（単位：百万円）

	前第3四半期 連結会計期間 自2017年10月1日 至2017年12月31日	百分比 %	当第3四半期 連結会計期間 自2018年10月1日 至2018年12月31日	百分比 %	対前第3四半期 連結会計期間 増減額	増減率 %
売上収益	21,568	100.0	26,785	100.0	5,217	24.2
売上原価	10,465	48.5	12,356	46.1	1,890	18.1
売上総利益	11,102	51.5	14,429	53.9	3,326	30.0
その他の収益・費用						
販売費及び一般管理費	6,346	29.4	7,050	26.3	703	11.1
研究開発費	2,518	11.7	3,072	11.5	553	22.0
その他の収益	18	0.1	39	0.1	21	114.0
その他の費用	162	0.8	112	0.4	△49	△30.7
営業利益	2,093	9.7	4,233	15.8	2,140	102.3
金融収益	127	0.6	76	0.3	△51	△40.1
金融費用	61	0.3	138	0.5	77	126.5
税引前四半期利益	2,159	10.0	4,171	15.6	2,011	93.1
法人所得税費用	882	4.1	1,030	3.8	147	16.7
四半期利益	1,276	5.9	3,141	11.7	1,864	146.0
その他の包括利益：						
純損益に振り替えられることのない項目						
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定される金融資産	132		△233		△366	
計	132		△233		△366	
純損益に振り替えられる可能性のある項目						
在外営業活動体の換算差額	379		△776		△1,156	
計	379		△776		△1,156	
その他の包括利益合計	512	2.4	△1,010	△3.8	△1,522	-
四半期包括利益	1,789	8.3	2,131	8.0	341	19.1
四半期利益の帰属：						
親会社の所有者	1,271		3,132		1,860	
非支配持分	5		8		3	
合計	1,276		3,141		1,864	
四半期包括利益の帰属：						
親会社の所有者	1,784		2,122		338	
非支配持分	5		8		3	
合計	1,789		2,131		341	
1株当たり四半期利益 (親会社の所有者に帰属)						
基本的1株当たり四半期利益（円）	9.26		22.80		13.54	
希薄化後1株当たり四半期利益（円）	9.26		22.79		13.53	

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間（自 2017年4月1日 至 2017年12月31日）

（単位：百万円）

	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配 持分	資本合計
2017年4月1日残高	19,052	28,169	24,394	△1,012	5,794	76,398	87	76,485
四半期利益	—	—	1,464	—	—	1,464	11	1,476
その他の包括利益	—	—	—	—	1,515	1,515	—	1,515
四半期包括利益	—	—	1,464	—	1,515	2,980	11	2,991
株式報酬取引	1	△46	50	25	—	31	—	31
剰余金の配当	—	—	△2,059	—	—	△2,059	—	△2,059
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	△0	—	△0
非支配株主への配当	—	—	—	—	—	—	△0	△0
子会社の支配喪失に伴う 変動	—	—	—	—	—	—	△21	△21
所有者との取引額等合計	1	△46	△2,008	25	—	△2,028	△22	△2,051
2017年12月31日残高	19,054	28,122	23,850	△987	7,309	77,350	76	77,426

当第3四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）

（単位：百万円）

	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配 持分	資本合計
2018年4月1日残高	19,064	28,137	26,254	△987	5,761	78,230	83	78,313
会計方針の変更による調整額	—	—	183	—	—	183	—	183
修正再表示後の残高	19,064	28,137	26,438	△987	5,761	78,414	83	78,497
四半期利益	—	—	6,257	—	—	6,257	24	6,282
その他の包括利益	—	—	—	—	228	228	—	228
四半期包括利益	—	—	6,257	—	228	6,486	24	6,511
株式報酬取引	27	14	24	23	—	89	—	89
剰余金の配当	—	—	△2,198	—	—	△2,198	—	△2,198
自己株式の取得	—	—	—	△168	—	△168	—	△168
非支配株主への配当	—	—	—	—	—	—	△0	△0
所有者との取引額等合計	27	14	△2,173	△145	—	△2,277	△0	△2,277
2018年12月31日残高	19,091	28,151	30,522	△1,132	5,990	82,623	107	82,730

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間 自2017年4月1日 至2017年12月31日	当第3四半期 連結累計期間 自2018年4月1日 至2018年12月31日	対前第3四半期 連結累計期間 増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前四半期利益	2,638	7,850	5,212
減価償却費及び償却費	3,190	3,280	90
受取利息及び受取配当金	△180	△244	△64
支払利息	98	72	△25
固定資産除売却損益（△は益）	5	△244	△249
営業債権及びその他の債権の増減額（△は増加）	732	△356	△1,088
棚卸資産の増減額（△は増加）	△2,281	△739	1,542
営業債務及びその他の債務の増減額（△は減少）	119	△1,195	△1,315
従業員給付の増減額（△は減少）	△1,462	△473	988
その他	1,558	2,809	1,250
小計	4,419	10,759	6,339
利息の受取額	121	181	59
配当金の受取額	58	62	4
利息の支払額	△86	△75	10
法人所得税の支払額	△572	△1,799	△1,227
法人所得税の還付額	217	238	21
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,158	9,366	5,207
投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金の預入による支出	△1,126	△536	589
定期預金の払戻による収入	1,093	1,070	△22
有形固定資産の取得による支出	△1,084	△1,714	△629
有形固定資産の売却による収入	2	707	705
その他の金融資産の取得による支出	△2	△2	△0
その他の金融資産の売却による収入	0	0	0
その他	△1,088	△638	449
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,206	△1,114	1,092
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額（△は減少）	—	688	688
長期借入れによる収入	—	3,000	3,000
長期借入金の返済による支出	—	△3,000	△3,000
社債の償還による支出	△6,000	—	6,000
配当金の支払額	△2,059	△2,198	△138
その他	△39	△172	△133
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,099	△1,682	6,416
現金及び現金同等物に係る換算差額	672	32	△640
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△5,473	6,601	12,075
現金及び現金同等物の期首残高	39,682	35,452	△4,229
現金及び現金同等物の四半期末残高	34,208	42,054	7,846

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、以下を除き、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一です。

なお、当第3四半期連結累計期間の法人所得税費用は、見積年次実効税率を基に算定しております。

当社グループは、第1四半期連結会計期間より、以下の基準を適用しております。

基準書	基準書名	新設・改訂の概要
IFRS第9号 (2014年7月改訂)	金融商品	金融資産の分類に関する限定的修正と予想信用損失モデルによる金融資産の減損規定の導入
IFRS第15号	顧客との契約から生じる収益	顧客との契約から生じる収益及びそれに関連する論点についての新たな原則及びガイダンスの提供と開示事項の拡充

IFRS第9号（2014年7月改訂）の適用に伴い、当社グループは償却原価で測定する金融資産の減損の認識について予想信用損失モデルにより貸倒引当金を認識する方法に変更しております。当該変更に伴う当社グループの業績及び財政状態に対する重要な影響はありません。

IFRS第15号の適用に伴い、当社グループはIFRS第9号「金融商品」に基づく利息や配当を除いた全ての収益を下記の5ステップアプローチに基づき認識しております。

ステップ1：顧客との契約を識別する

ステップ2：契約における履行義務を識別する

ステップ3：取引価格を算定する

ステップ4：取引価格を契約における履行義務に配分する

ステップ5：企業が履行義務の充足時に収益を認識する

当社グループは、主として、計測事業に区分している通信用及び汎用計測器、測定システム、サービス・アシュアランス、及びPQA事業に区分している高精度かつ高速の各種自動重量選別機、自動電子計量機、異物検出機などの食品・医薬品・化粧品産業向けの生産管理・品質保証システム等について、製品・ソフトウェア等の販売及びそれらに付随して発生する修理やサポート・サービスの提供を行っております。

これらの製品・ソフトウェア等の販売については、物品の所有に伴う重要なリスク及び経済価値が顧客に移転した時点で、物品に対する継続的な管理上の関与がない場合に、顧客が当該物品に対する支配を獲得することから履行義務を充足したと判断し、収益を認識しております。

物品の所有にかかるリスク及び経済価値の移転時期は、個々の販売契約の条件によって異なりますが、通常は物品が顧客に引き渡された時点や船積日等であります。

製品・ソフトウェア等の販売に付随して発生する修理やサポート・サービスの提供については、当該サービスを顧客に移転した時点で、又は当該サービスを顧客に移転するにつれて、収益を認識しております。

製品・ソフトウェア、サポート・サービスなど複数の成果物を提供する複数要素取引については、それぞれの構成要素が別個の履行義務として識別される場合に、取引価格を独立販売価格に基づき比例的に配分し、それぞれの履行義務について収益を認識しております。

従前の会計基準では複数要素取引について残余法により配分を行っていた為、一部の取引について収益の認識に差異が生じています。

IFRS第15号の適用にあたっては、経過措置に準拠して遡及適用を行い、適用開始による累積的影響を当連結会計年度の利益剰余金期首残高に対する修正として認識しております。この経過措置の採用に伴い、要約四半期連結持分変動計算書における当第3四半期連結累計期間の利益剰余金期首残高について183百万円の増加を修正として認識しております。

なお、従前の会計基準を適用した場合と比較し、要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書における重要な影響はありません。

（セグメント情報）

1. 報告セグメントの概要

当社グループは、製品・サービスで区分した事業セグメントごとに国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。取締役会においては、各事業セグメントの財務情報をもとに、定期的に経営資源の配分の決定及び業績の評価を行っております。当社グループは、「計測事業」及び「PQA事業」を報告セグメントとしております。

各報告セグメントの主な製品・サービスは以下のとおりです。

計測	デジタル通信・IPネットワーク用測定器、光通信用測定器、移動通信用測定器、RF・マイクロ波・ミリ波帯汎用測定器、サービス・アシュアランス
PQA	自動重量選別機、自動電子計量機、異物検出機、総合品質管理・制御システム

2. 報告セグメントの収益及び損益

当社グループの報告セグメント情報は以下のとおりです。

報告セグメント間の売上収益は、通常の市場価格に基づいております。

なお、第1四半期連結会計期間より、各事業セグメントの業績をより適切に評価するため、これまで各事業セグメントに配分していた一般管理費のうち本社管理費等を全社費用に含めるよう配分方法を変更しております。前第3四半期連結累計期間の数値は、変更後の表示に合わせて組替再表示しております。

前第3四半期連結累計期間（自2017年4月1日 至2017年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	要約四半期 連結純損益 及びその他 の包括利益 計算書計上 額
	計測	PQA	計				
外部顧客からの売上収益	40,115	16,102	56,217	6,040	62,258	—	62,258
セグメント間の売上収益	54	2	56	3,314	3,371	△3,371	—
計	40,169	16,104	56,274	9,355	65,630	△3,371	62,258
売上原価及びその他の 収益・費用	△39,278	△14,767	△54,046	△8,467	△62,513	2,921	△59,591
営業利益	891	1,336	2,228	888	3,116	△449	2,666
金融収益	—	—	—	—	—	—	194
金融費用	—	—	—	—	—	—	223
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	2,638
法人所得税費用	—	—	—	—	—	—	1,161
四半期利益	—	—	—	—	—	—	1,476

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、情報通信、デバイス、物流、厚生サービス、不動産賃貸、人事・経理事務処理業務、部品製造等を含んでおります。

(注2) 営業利益の調整額には、セグメント間取引消去2百万円、各事業セグメントに配分していない全社費用△452百万円が含まれております。全社費用は、主に事業セグメントに帰属しない基礎研究費用及び一般管理費です。

当第3四半期連結累計期間（自2018年4月1日 至2018年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	要約四半期 連結純損益 及びその他 の包括利益 計算書計上 額
	計測	PQA	計				
外部顧客からの売上収益	48,602	16,617	65,219	5,900	71,120	—	71,120
セグメント間の売上収益	66	2	69	2,995	3,064	△3,064	—
計	48,669	16,619	65,289	8,895	74,185	△3,064	71,120
売上原価及びその他の 収益・費用	△42,156	△15,588	△57,744	△8,174	△65,919	2,514	△63,404
営業利益	6,513	1,031	7,544	721	8,266	△550	7,716
金融収益	—	—	—	—	—	—	337
金融費用	—	—	—	—	—	—	203
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	7,850
法人所得税費用	—	—	—	—	—	—	1,567
四半期利益	—	—	—	—	—	—	6,282

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、情報通信、デバイス、物流、厚生サービス、不動産賃貸、人事・経理事務処理業務、部品製造等を含んでおります。

(注2) 営業利益の調整額には、セグメント間取引消去△0百万円、各事業セグメントに配分していない全社費用△549百万円が含まれております。全社費用は、主に事業セグメントに帰属しない基礎研究費用及び一般管理費です。

3. 地域別売上収益

売上収益の地域別内訳は以下のとおりです。

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
日本	19,614	21,468
米州	13,493	19,035
EMEA	9,540	9,101
アジア他	19,609	21,515
合計	62,258	71,120

(注1) 売上収益は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(注2) EMEA(Europe, Middle East and Africa)：欧州・中近東・アフリカ地域

3. 参考情報

最近における四半期毎の業績の推移（連結）

2018年3月期

	第1四半期 自2017年4月1日 至2017年6月30日	第2四半期 自2017年7月1日 至2017年9月30日	第3四半期 自2017年10月1日 至2017年12月31日	第4四半期 自2018年1月1日 至2018年3月31日
売上収益	19,424	21,265	21,568	23,709
売上総利益	9,121	10,337	11,102	11,382
営業利益	△162	736	2,093	2,245
税引前四半期利益	△163	641	2,159	1,964
四半期利益	△210	410	1,276	1,422
親会社所有者帰属四半期利益	△222	415	1,271	1,415
四半期包括利益	248	954	1,789	862
	円	円	円	円
基本的1株当たり四半期利益	△1.62	3.03	9.26	10.31
希薄化後1株当たり四半期利益	△1.62	3.03	9.26	10.30
資産合計	125,729	121,036	120,928	121,190
資本合計	75,715	76,675	77,426	78,313
	円	円	円	円
1株当たり親会社所有者帰属持分	550.59	557.62	563.20	569.54
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,006	970	△1,817	3,787
投資活動によるキャッシュ・フロー	△779	△718	△707	△1,726
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,045	△6,014	△1,038	△102
現金及び現金同等物の増減額	3,368	△5,525	△3,317	1,244
現金及び現金同等物期末残高	43,051	37,525	34,208	35,452

2019年3月期

	第1四半期 自2018年4月1日 至2018年6月30日	第2四半期 自2018年7月1日 至2018年9月30日	第3四半期 自2018年10月1日 至2018年12月31日	第4四半期 自2019年1月1日 至2019年3月31日
売上収益	20,964	23,370	26,785	—
売上総利益	10,793	11,353	14,429	—
営業利益	1,630	1,851	4,233	—
税引前四半期利益	1,752	1,926	4,171	—
四半期利益	1,699	1,441	3,141	—
親会社所有者帰属四半期利益	1,690	1,434	3,132	—
四半期包括利益	2,097	2,282	2,131	—
	円	円	円	円
基本的1株当たり四半期利益	12.31	10.44	22.80	—
希薄化後1株当たり四半期利益	12.30	10.43	22.79	—
資産合計	122,871	126,289	126,559	—
資本合計	79,574	81,912	82,730	—
	円	円	円	円
1株当たり親会社所有者帰属持分	578.54	595.40	601.63	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,046	3,049	1,271	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△634	98	△578	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△523	632	△1,791	—
現金及び現金同等物の増減額	3,955	4,175	△1,529	—
現金及び現金同等物期末残高	39,408	43,584	42,054	—

最近における四半期毎の財政状態の推移（連結）

2018年3月期

（単位：百万円）

	第1四半期 2017年6月30日	第2四半期 2017年9月30日	第3四半期 2017年12月31日	第4四半期 2018年3月31日
資産	125,729	121,036	120,928	121,190
流動資産	83,033	78,406	78,920	79,576
非流動資産	42,695	42,630	42,008	41,613
有形固定資産	26,221	25,958	25,498	25,947
のれん及び無形資産	3,814	3,953	3,954	3,993
投資不動産	1,622	1,547	1,505	1,463
その他の非流動資産	11,036	11,170	11,048	10,208
負債	50,014	44,361	43,502	42,876
流動負債	29,687	26,965	25,753	26,803
非流動負債	20,326	17,395	17,748	16,073
資本	75,715	76,675	77,426	78,313
資本金	19,052	19,053	19,054	19,064
資本剰余金	28,153	28,110	28,122	28,137
利益剰余金	23,144	23,608	23,850	26,254
自己株式	△986	△986	△987	△987
その他の資本の構成要素	6,253	6,797	7,309	5,761
非支配持分	97	92	76	83
(参考)有利子負債	22,032	16,037	16,041	15,944

2019年3月期

（単位：百万円）

	第1四半期 2018年6月30日	第2四半期 2018年9月30日	第3四半期 2018年12月31日	第4四半期 2019年3月31日
資産	122,871	126,289	126,559	—
流動資産	81,680	85,609	86,831	—
非流動資産	41,191	40,679	39,727	—
有形固定資産	25,710	25,668	25,160	—
のれん及び無形資産	3,888	3,803	3,717	—
投資不動産	1,422	913	871	—
その他の非流動資産	10,169	10,294	9,977	—
負債	43,296	44,377	43,828	—
流動負債	27,271	28,629	27,766	—
非流動負債	16,025	15,748	16,061	—
資本	79,574	81,912	82,730	—
資本金	19,065	19,081	19,091	—
資本剰余金	28,104	28,138	28,151	—
利益剰余金	27,118	28,557	30,522	—
自己株式	△964	△964	△1,132	—
その他の資本の構成要素	6,159	7,000	5,990	—
非支配持分	91	98	107	—
(参考)有利子負債	16,460	17,099	16,625	—

最近における四半期毎のセグメント情報の推移（連結）

2018年3月期

（単位：百万円）

	第1四半期 自2017年4月1日 至2017年6月30日	第2四半期 自2017年7月1日 至2017年9月30日	第3四半期 自2017年10月1日 至2017年12月31日	第4四半期 自2018年1月1日 至2018年3月31日
セグメント別受注高	20,159	22,542	21,512	24,328
計測	12,400	14,175	13,416	16,647
PQA	5,397	6,146	5,621	5,590
その他	2,361	2,220	2,474	2,090
セグメント別受注残高	18,837	20,198	20,465	21,130
計測	12,477	13,398	13,423	15,931
PQA	4,842	4,966	5,198	4,270
その他	1,518	1,834	1,843	928
セグメント別売上収益	19,424	21,265	21,568	23,709
計測	13,050	13,329	13,736	14,317
PQA	4,678	6,030	5,393	6,447
その他	1,696	1,906	2,438	2,943
セグメント別営業利益	△162	736	2,093	2,245
計測	△487	48	1,330	1,256
PQA	316	595	425	632
その他	142	227	518	569
調整額	△134	△134	△181	△213
地域別売上収益	19,424	21,265	21,568	23,709
日本	5,495	7,778	6,341	10,139
米州	4,382	4,025	5,085	3,925
EMEA	3,127	3,168	3,244	3,241
アジア他	6,420	6,291	6,897	6,403

2019年3月期

（単位：百万円）

	第1四半期 自2018年4月1日 至2018年6月30日	第2四半期 自2018年7月1日 至2018年9月30日	第3四半期 自2018年10月1日 至2018年12月31日	第4四半期 自2019年1月1日 至2019年3月31日
セグメント別受注高	22,595	25,314	25,994	—
計測	14,579	17,420	17,989	—
PQA	5,726	5,908	5,638	—
その他	2,289	1,984	2,365	—
セグメント別受注残高	22,689	24,289	23,383	—
計測	15,964	18,210	16,660	—
PQA	5,147	4,560	4,988	—
その他	1,577	1,519	1,733	—
セグメント別売上収益	20,964	23,370	26,785	—
計測	14,388	14,767	19,446	—
PQA	4,898	6,541	5,176	—
その他	1,676	2,061	2,162	—
セグメント別営業利益	1,630	1,851	4,233	—
計測	1,516	1,026	3,969	—
PQA	150	701	179	—
その他	103	331	285	—
調整額	△140	△208	△201	—
地域別売上収益	20,964	23,370	26,785	—
日本	5,685	8,115	7,667	—
米州	6,046	4,893	8,095	—
EMEA	2,920	2,732	3,448	—
アジア他	6,312	7,629	7,573	—

(注1)EMEA(Europe, Middle East and Africa)：欧州・中近東・アフリカ地域

(注2)2019年3月期から本社管理費等の各事業セグメントへの配分方法を変更しており、2018年3月期の数値は組替再表示しております。

決算補足資料

1. 通期連結業績推移

(単位：百万円)

	実績					予想
	2014/3	2015/3	2016/3	2017/3	2018/3	2019/3
売上収益	101,853	98,839	95,532	87,638	85,967	98,000
前期比 %	7.6%	△3.0%	△3.3%	△8.3%	△1.9%	14.0%
営業利益	14,123	10,882	5,897	4,234	4,912	11,000
前期比 %	△10.1%	△22.9%	△45.8%	△28.2%	16.0%	123.9%
営業利益率 %	13.9%	11.0%	6.2%	4.8%	5.7%	11.2%
税引前利益	14,239	11,591	5,434	3,628	4,602	11,000
前期比 %	△11.8%	△18.6%	△53.1%	△33.2%	26.8%	139.0%
税引前利益率 %	14.0%	11.7%	5.7%	4.1%	5.4%	11.2%
当期利益	9,318	7,874	3,767	2,734	2,898	8,500
前期比 %	△32.9%	△15.5%	△52.2%	△27.4%	6.0%	193.2%
当期利益率 %	9.1%	8.0%	3.9%	3.1%	3.4%	8.7%
基本的1株当たり当期利益	¥64.93	¥55.72	¥27.38	¥19.65	¥20.97	¥61.87
受注高	103,864	101,084	94,589	88,934	88,542	98,000
前期比 %	8.2%	△2.7%	△6.4%	△6.0%	△0.4%	10.7%
営業キャッシュ・フロー	13,792	7,582	10,195	9,246	7,946	13,500
前期比 %	17.2%	△45.0%	34.5%	△9.3%	△14.1%	69.9%
フリー・キャッシュ・フロー	8,480	1,533	1,153	5,581	4,014	10,000
前期比 %	25.8%	△81.9%	△24.8%	384.0%	△28.1%	149.1%
設備投資額(注1)	5,355	9,612	5,399	2,588	3,430	3,500
前期比 %	17.4%	79.5%	△43.8%	△52.1%	32.5%	2.0%
減価償却費(注2)	2,863	3,186	3,736	3,935	3,964	4,100
前期比 %	11.8%	11.3%	17.3%	5.3%	0.7%	3.4%
研究開発費(注3)	12,488	13,366	13,089	11,212	10,556	11,600
前期比 %	21.0%	7.0%	△2.1%	△14.3%	△5.9%	9.9%
売上収益比率 %	12.3%	13.5%	13.7%	12.8%	12.3%	11.8%
従業員数	3,880	3,926	3,846	3,788	3,717	-

(注1) 無形資産に計上した資産化開発費は含めておりません。

(注2) 無形資産に計上している資産化開発費の償却額は含めておりません。

(注3) 一部資産化した開発費を含めて研究開発費投資額を記載しております。したがって、連結純損益及びその他の包括利益計算書で費用計上されている研究開発費とは一致しません。

2. 四半期連結業績推移

(単位：百万円)

	2017/Q1	2017/Q2	2017/Q3	2017/Q4	2018/Q1	2018/Q2	2018/Q3	2018/Q4
売上収益	19,424	21,265	21,568	23,709	20,964	23,370	26,785	-
前年同期比 %	△4.2%	1.7%	2.4%	△6.6%	7.9%	9.9%	24.2%	-
営業利益	△162	736	2,093	2,245	1,630	1,851	4,233	-
前年同期比 %	-	418.6%	161.9%	△12.4%	-	151.5%	102.3%	-
営業利益率 %	△0.8%	3.5%	9.7%	9.5%	7.8%	7.9%	15.8%	-
税引前利益	△163	641	2,159	1,964	1,752	1,926	4,171	-
前年同期比 %	-	-	86.5%	△18.7%	-	200.1%	93.1%	-
税引前利益率 %	△0.8%	3.0%	10.0%	8.3%	8.4%	8.2%	15.6%	-
当期利益	△210	410	1,276	1,422	1,699	1,441	3,141	-
前年同期比 %	-	-	61.0%	△29.6%	-	251.5%	146.0%	-
当期利益率 %	△1.1%	1.9%	5.9%	6.0%	8.1%	6.2%	11.7%	-

(単位：百万円)

上段：売上収益 下段：営業利益	2017/Q1	2017/Q2	2017/Q3	2017/Q4	2018/Q1	2018/Q2	2018/Q3	2018/Q4
計測	13,050 △487	13,329 48	13,736 1,330	14,317 1,256	14,388 1,516	14,767 1,026	19,446 3,969	- -
PQA	4,678 316	6,030 595	5,393 425	6,447 632	4,898 150	6,541 701	5,176 179	- -
その他	1,696 142	1,906 227	2,438 518	2,943 569	1,676 103	2,061 331	2,162 285	- -
調整額	- △134	- △134	- △181	- △213	- △140	- △208	- △201	- -
売上収益 計	19,424	21,265	21,568	23,709	20,964	23,370	26,785	-
営業利益 計	△162	736	2,093	2,245	1,630	1,851	4,233	-

(注) 2019年3月期から本社管理費等の各事業セグメントへの配分方法を変更しており、2018年3月期の数値は組替再表示しております。

3. 連結セグメント別業績推移

(1) セグメント別売上収益

(単位：百万円)

	実績					予想
	2014/3	2015/3	2016/3	2017/3	2018/3	2019/3
計測	75,962	73,443	67,729	59,333	54,433	66,000
前期比	6.6%	△3.3%	△7.8%	△12.4%	△8.3%	21.2%
PQA	16,919	16,198	18,891	19,588	22,549	23,500
前期比	17.2%	△4.3%	16.6%	3.7%	15.1%	4.2%
その他	8,970	9,198	8,910	8,716	8,984	8,500
前期比	△0.5%	2.5%	△3.1%	△2.2%	3.1%	△5.4%
合計	101,853	98,839	95,532	87,638	85,967	98,000
前期比	7.6%	△3.0%	△3.3%	△8.3%	△1.9%	14.0%

(注)2016年3月期より、「PQA」は従来の「産業機械」から名称変更しております。過年度においても、変更後の名称で表示しております。

(2) セグメント別営業利益

(単位：百万円)

	実績					予想
	2014/3	2015/3	2016/3	2017/3	2018/3	2019/3
計測	13,011	8,943	4,706	2,130	2,147	9,000
前期比	△13.2%	△31.3%	△47.4%	△54.7%	0.8%	319.1%
PQA	1,208	824	1,194	1,302	1,969	2,000
前期比	48.3%	△31.8%	45.0%	9.0%	51.2%	1.5%
その他	941	1,963	575	992	1,458	700
前期比	46.7%	108.5%	△70.7%	72.5%	47.0%	△52.0%
調整額	△1,038	△848	△578	△190	△663	△700
前期比	-	-	-	-	-	-
合計	14,123	10,882	5,897	4,234	4,912	11,000
前期比	△10.1%	△22.9%	△45.8%	△28.2%	16.0%	123.9%

(注)2019年3月期から本社管理費等の各事業セグメントへの配分方法を変更しており、2018年3月期の数値は組替再表示しております。2014年3月期から2017年3月期の数値は組替再表示しておりません。

(3) 地域別売上収益

(単位：百万円)

	実績					予想
	2014/3	2015/3	2016/3	2017/3	2018/3	2019/3
日本	30,133	27,116	28,565	29,338	29,753	31,500
前期比	△14.6%	△10.0%	5.3%	2.7%	1.4%	5.9%
海外	71,720	71,723	66,966	58,299	56,213	66,500
前期比	20.8%	0.0%	△6.6%	△12.9%	△3.6%	18.3%
米州	28,858	24,367	23,246	19,633	17,419	25,500
前期比	27.3%	△15.6%	△4.6%	△15.5%	△11.3%	46.4%
EMEA	14,601	15,885	13,537	12,520	12,781	11,500
前期比	15.7%	8.8%	△14.8%	△7.5%	2.1%	△10.0%
アジア他	28,260	31,470	30,182	26,145	26,012	29,500
前期比	17.2%	11.4%	△4.1%	△13.4%	△0.5%	13.4%
合計	101,853	98,839	95,532	87,638	85,967	98,000
前期比	7.6%	△3.0%	△3.3%	△8.3%	△1.9%	14.0%

(注)EMEA(Europe, Middle East and Africa)：欧州・中近東・アフリカ地域

(参考) 2019年3月期 下期想定為替レート：1米ドル105円